

千船病院では、睡眠時無呼吸症候群の精密検査を行っています。

睡眠時無呼吸症候群 (SAS) とは



睡眠中のいびきや無呼吸のために、ぐっすりと眠ることが出来ず、日中のだるさや眠気、起床時の頭痛を引き起こすことがあります。治療抵抗性の高血圧や不整脈などに関連していることもあります。

呼吸イベントを評価します
(自宅で行います)

簡易検査



肥満症について、一定基準を超える方には減量手術介入も検討します。

診療の流れ

問診

簡易検査

(スクリーニング：自宅)

PSG検査

(精密検査：1泊入院)

タイトレーション検査

(CPAP効果判定検査：1泊入院)

自宅で治療継続

1-2か月ごとの定期受診

脳波や呼吸イベントを評価します
(入院で行います)

精密検査



◆ 治療方法について ◆

閉塞性睡眠時無呼吸症候群の治療法にはさまざまな方法があります。口腔内装置による治療、手術による治療、そしてCPAP療法（持続陽圧呼吸療法）です。病状・状況により治療方法は異なります。また、生活習慣・睡眠衛生の改善も合わせて行う必要があります。

閉塞性無呼吸主体の方についてはAuto CPAPなどの持続陽圧呼吸治療器を用いて治療介入を行い、必要時には、在宅酸素治療の併用も行います。また高度肥満（BMI30以上）の方で肥満低換気症候群の診断基準に合致する方については、NPPV（非侵襲的陽圧換気療法）などの導入も検討いたします。喫煙者においては禁煙を勧めます。必要時、栄養士による栄養指導、リハビリテーションの介入も行います。さらなる高度肥満症の方については、当院の糖尿病・減量外科と連携し短期入院での減量手術も検討します。胃SLEEVE切除の減量手術にて、91.6%の眠気スコアの改善や80.6%のAHI指数の改善する報告を認めます。（Surgery for Obesity and Related Diseases.2016; 12(1),70-74）



呼吸器内科・リハビリテーション科 部長

住谷 充弘 Sumitani Mitsuhiro

専門分野

睡眠呼吸障害 呼吸リハビリテーション

略 歴

- 1997年 関西医科大学 医学部 卒業
- 1997年 関西医科大学 内科学
- 1998年 茅ヶ崎徳洲会総合病院 内科
- 2000年 大阪市立総合医療センター 呼吸器内科
- 2002年 淀川キリスト教病院 呼吸器内科
- 2004年 大阪市立総合医療センター 呼吸器内科
- 2009年 Mayo Clinic (循環器睡眠教室：Prof.VK Somers)
research fellow
- 2011年 大阪市立総合医療センター 呼吸器内科 副部長
- 2018年 大阪市立総合医療センター
呼吸器内科兼リハビリテーション科 副部長



資 格

- 日本呼吸器学会呼吸器専門医・指導医
- 日本アレルギー学会アレルギー専門医
- 日本内科学会認定内科医
- 日本内科学会総合内科専門医
- 日本呼吸ケア・リハビリテーション学会認定呼吸ケア指導士（初級）
- 第5回住友病院緩和ケア研修会 修了

診療の特色 睡眠呼吸障害改善による健康維持を目指します

睡眠時無呼吸症候群と関係が深い関連内科疾患（高血圧、心房細動、糖尿病、逆流性食道炎など）との関連を踏まえた、睡眠時無呼吸治療を目指します。

睡眠時無呼吸症候群との関連が多い肥満症についても糖尿病内分泌内科や糖尿病・減量外科と協力し、手術も含めて減量介入を行います。

地域医療科直通 TEL 06-6473-9765 / FAX 06-6474-0161



社会医療法人 愛仁会 千船病院 呼吸器内科

大阪市西淀川区福町3丁目2番39号

<https://www.chibune-hsp.jp/department/kokyukinaika/>